

広 報

# なかがわ



●平成23年度町政執行方針、  
教育行政執行方針

2011  
H23

8

No.627

# 平成23年度 町政執行方針

中川町長 川口 精雄

平成23年第2回中川町議会定例会の開会にあたり、私の町政への執行方針を申し述べ、議員各位並びに町民の皆様の特段のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

私は、このたびの統一地方選挙におきまして、町民の皆様への温かいご支援、ご支持を賜り、5月1日、中川町長に就任させていただきました。

多くの皆様から寄せられた信頼と期待に応えるべく町民主体のまちづくりに専心努力してまいりる所存であります。

私は、まちづくりの原点は、町民が希望にあふれ、地域に誇りをもつ日々の暮らしの中にある、と考えております。お年寄りの安心と生きがいを作り、若者の子育て支援で定住化を図り、農林業の新しい挑戦の中で新たな雇用の場の創出を目指す必然性がそこにあり、選挙をとおして、ふる

さと中川の希望を取り戻すべく三つの元気づくりを訴えてまいりました。

一つには、安心で生きがいの持てる「元気な高齢社会」です。

そのために、保健と福祉、さらに医療機関との連携を強化し、恵まれた自然環境を活用した健康事業や、高齢者が積極的に地域貢献できる仕組みづくりの展開が必要であると考えています。

二つには、新たな雇用につながる「元気な産業経済」です。

基幹産業である農林業の新たな振興策をすすめる、農工商連携や起業の積極的な支援などにより、新しい雇用の創出を目指します。

三つ目は、地域の絆を深める「元気な人づくり」です。

町民との対話の場を積極的につくり、幼児センターの充実や、ボランティア団体に対

する支援を活発に展開してまいります。

さて、わが国の情勢は、東日本大震災と福島原子力発電所の事故により混乱を続けております。震災地復興のための特例公債の発行、第二次補正予算の成立が急がれますが、未だ先行きの見えない状況にあるといえます。

更に、現政権の政策の転換、廃止・縮減も懸念され、地方自治体の財政運営に少なからず影響があるものと思われまが、あらゆる機会を通じ情報の収集に努めるとともに、事務事業評価の継続により健全財政を堅持し、不測の事態に陥ることのないよう努めてまいります。

このような先行き不透明な状況下にあつても、地域の課題は自ら考え自ら行動し自ら克服する自治体の力量が求められる時代であり、町民の皆様との協働により、あらゆる課題を乗り越えてまいりる決意であります。

中川町は今、極めて重要な節目を迎えていると考えております。

この一年を、ふるさと中川の「希望への架け橋」を架ける年と位置づけ、町民の暮らしと未来に、希望あふれる町政を展開してまいります。

以降、平成21年度を始期とする第5次中川町総合計画、基本計画に沿って、本年度の主要施策について申し上げます。

【暮らしやすさを実感するまちづくり】

温かみのある暮らし

## ●地域福祉

町民が住み慣れた地域で共に支えあい、安心して暮らすことのできる地域づくりを基本とし、町民一人ひとりが自立した生活を営めるよう相互に支えあう福祉を目指し、各地区の民生委員児童委員・町内会自治会・社会福祉協議会など福祉ボランティアの方々

に地域福祉活動の担い手としてご協力をいただきながら支援活動の充実に努めてまいります。

## ●高齢者福祉

本年は、「第5期介護保険事業計画」策定の年となります。第4期計画の総括を基に介護保険利用者ニーズに対応した計画の策定に努めてまいります。

高齢になつても「健康で生きがいを持って地域で暮らしたい」との思いを具現化するために、介護予防・生活支援事業はもとより健康相談や貯筋体操教室を充実させ、運動機能の維持・強化に努めてまいります。

また、地域において高齢者福祉活動に取り組む老人クラブにつきましては、高齢者の積極的な社会参加の促進や、生きがいづくりの場として重要であることから引き続き支援をしてまいります。

特別養護老人ホーム「一心苑」につきましては、継続して施設の改修を実施してきており、本年はスプリンクラーを設置するとともに、老朽化したベッドを更新し、入所者の安心安全と快適な環境づくりに努めてまいります。

## ●子育て支援

安心して子どもを産み育てるためには、子育て環境を含め、総合的な子育て支援が必要であります。

「中川町次世代育成支援後期行動計画」に基づき子育て支援センターを中心に、子育て支援ネットワークの充実に努めてまいります。

また、妊婦の健康管理の充実及び負担の軽減を図るため、妊婦健診にかかる費用を助成し、安心して妊娠・出産ができる環境づくりに努めてまいります。

就労家庭への支援事業である学童保育につきましては、児童の放課後における活動の場を提供し、幼児センター・児童センター等の関係機関の連携により健全で安心できる運営に努めてまいります。地域における子育て支援につきましては、「老人クラブ」や「中川町自主パトロール隊」並びに中川町地域安全推進協議会が実施する「こども110番の家」「こども110番移動車」等の協力事業所の皆様に、学童の登下校時や放課

後における見守り・声かけを実施いただいております。本年度もご理解をいただき実施してまいります。

## ●自立した生活

障がいのある方々が地域の中で安心して暮らせる社会の実現は、ご本人はもとよりご家族の方にとっても切実な願いであります。

本町においてもその実現のため、障害者自立支援法に基づき福祉サービスや地域生活支援事業を実施し、障がい者福祉施設等の関係機関と連携を図り障がいのある方々とご家族の支援に努めてまいります。

ひとり親家庭への支援につきましては、国では就業支援策等を設けておりますが、地方では雇用情勢を改善できる状況にはなく就労は厳しい実態にありますので、当面は国が行っている扶助制度を活用し自立を助長する支援に努めてまいります。

## 快適な暮らし

### ●居住環境

公営住宅につきましては、平成22年度に策定しました中川町公営住宅等長寿命化計画により、適正に管理・修繕を実施してまいります。

民間賃貸住宅建設等支援事業を今年度から2カ年で実施してまいります。

本年は単身者用1棟8戸、世帯者用2棟8戸が建設される予定であります。

また、持家維持のためのリフォーム等経費の軽減を図り、定住化を促すため助成金制度の導入について検討してまいります。

### ●簡易水道

簡易水道施設の改修につきましては、維持管理の効率化と安全でかつ安定的な水を確保する上で、前処理ろ過施設及び更新機器を年次計画に基づき整備してまいります。

### ●下水道

下水道施設（農業集落排水施設）につきましては、機能

強化事業により、真空管路の埋設、真空弁及びコントローラの更新を実施してまいります。

今後も、公営住宅・簡易水道・下水道の整備につきましては維持管理を徹底し、安全で安心な暮らしの環境整備に努めてまいります。

## 安心できる暮らし

### ●保健・医療

心身ともに健康であることは誰もが願うことであります。健康の維持や疾病の早期発見・早期治療のためには、自らの健康状態を積極的に知る努力と、自ら健康管理に努力することが重要であると考えております。

また、年々増加する高齢者世帯の健康状態や生活状態を把握することは最も重要であるため、保健・医療・介護・福祉サイドと情報を共有し、予防対策に努めてまいります。本町は生活習慣病の治療割合が高く、脳血管や腎臓・心臓等の疾病等罹患率も高いことから、特定健康診査の受診

率を高めるとともに保健指導を徹底し生活習慣病の予防に努めてまいります。

乳がん検診・子宮がん検診・大腸がん検診及び肝炎検診を、国の事業を活用し無料で実施し疾病の早期発見に努めてまいります。

健康づくりには適度な運動が重要であります。本町の恵まれた自然環境を活用し、誰もが運動しやすいウォーキング及びノルディックウォーキングを引き続き推進してまいります。本年度は歩行距離や運動によるカロリー消費もわかる中川町ウォーキングマップを作成し、普及拡大を図ってまいります。

食育につきましては、第1期計画を見直し、第2期計画がスタートいたしました。第2期計画の重点目標を「生涯にわたって健康で豊かな生活実現のための食育」と掲げ、地域活動と連携を図りながら食育の推進に努めてまいります。

感染症の予防対策につきましては、昨年度から実施している任意予防接種のヒブワク

チン、小児用肺炎球菌ワクチン接種に対する情報を保護者に提供しながら対象者が接種し易い環境を整えてまいります。

子宮頸がん予防ワクチン接種につきましては、中学校・高校の協力を得てご本人・保護者への説明会を行い、将来にわたる子宮頸がんの予防に努めてまいります。

中川町立診療所及び中川町立歯科診療所について申し上げます。

診療所は、本町唯一の医療機関として救急医療（第一次）並びにサテライト事業（小児科・産婦人科・眼科）などを担う医療機関であります。

診療所の運営につきましては、医師の確保のみならず安心・安全な医療体制を整備する上において、看護師等の安定的な確保が必要不可欠であり、看護師の定着化が重要な課題であります。

よって、看護師等の住環境を整えることが、保健・医療・介護・福祉における体制強化の一助となることから、本年度は医療従事者（看護師）

住宅の建設を進めてまいります。

歯科診療所は昨年度新築し、診療を順調に行っていたいております。

両診療所とも医療保険制度の改正により厳しい経営状況に変わりありませんので「樺会」「五島会」に対し、引き続き支援を行ってまいります。

国民健康保険事業につきましては、安心・安全な医療が提供され、すべての被保険者に保険が適用され、安心・安全な医療が提供されなければなりません。

町は保険者として制度の円滑な運用を促進するとともに、被保険者に対し特定健康診査の実施や各種検診の受診を促し、医療費の抑制や疾病の予防に努めてまいります。

なお、私の公約でもありません医療費の無料化の拡大についてであります。本年8月より中学生までの医療費助成を実施することになっておりますので、本年度中に課題を整理し実施方法を検討してまいります。

後期高齢者医療制度につき

ましては、北海道後期高齢者医療広域連合と連携しながら円滑な運営に努めるとともに、町民の窓口として医療保険制度の円滑な運用と被保険者の利便性向上に努めてまいります。

介護保険制度につきましては、本年度が第4期（平成21年度から平成23年度）計画の最終年度となりますので利用者の実態を把握し、実態に見合った計画策定に向け準備してまいります。保険料につきましても加入者負担バランスと収支バランスを考慮しつつ前年度までの実績を踏まえて、保険料の見直しも視野に入れ検討してまいります。

#### ● 消防・救急

災害時の消防拠点としての総合的な施設整備につきましては、あらゆる機関と連携を密にして、検討してまいります。

消防団員の確保につきましては、様々な取り組みを行っておりますが、欠員状態が続いております。消防団活動の広報を更に充実させ、町民の

理解を得る中から入団への取り組みを推進してまいります。常備消防の広域化につきましては、現在上川北部圏として上川北部消防事務組合と士別地方消防事務組合との広域化が計画されており、関係機関との協議が進められております。

消防救急無線のデジタル化につきましては、平成28年5月を実施目途に道北12消防本部で協議を重ねており、平成24年度に伝搬調査、基本設計実施に向けて消防本部と協議を進めてまいります。

火災予防につきましては、町民の防火思想の啓発と高揚の一環として、例年同様10月に防火査察を全戸対象に実施いたします。

また、政令対象物、危険物施設等につきましては、計画的に立入検査を行い、危険排除に努めてまいります。本年6月から完全義務化された、住宅用火災警報器の設置につきましては、今後とも設置に向け指導を強化してまいります。

救急業務につきましては、

現在、救急救命士3名を中心に傷病者の救命率を向上させるため毎月訓練を重ねておりますが、更なる医療技術の進歩に見合った救急用資機材の整備を行ってまいります。

応急手当の普及につきましては、現場に居合わせた方が、いかに早く的確な応急救置を施せるかによって救命率が大幅に向上することから、一人でも多くの町民が応急救置ができるよう、各事業所や各団体に救命講習の受講を呼び掛けてまいります。

今後の救急救命士の確保につきましては、職員採用時に有資格者を採用することも視野に入れ、救命士の確保を図ってまいります。

#### ● 地域防災体制

山林に囲まれ、天塩川をはじめ数多くの中小河川を持ち、集落が点在する中川町では、台風や洪水、雪崩等の自然災害の予防と災害発生時に適切に対応できる防災体制の充実が求められます。万一、非常事態が発生した時は災害を減災するために、なかがわ光ネ

ネットワーク「おしらせ君」を活用し、町民に正確な災害情報をスピーディーに伝達するとともに、町内会及び自治会や関係団体との連携による防災組織体制の整備や避難要支援者に対する支援体制を整備し、地域の防災に努めてまいります。

「中川町地域防災計画」に基づく指定避難所につきましては、地域・集落の実情を把握し、見直してまいります。町内建築物の耐震対策につきましては、「中川町耐震改修促進計画」に基づき、整備・普及等推進に努めてまいります。

東日本大震災の被災者支援につきましては、空家住宅、学校施設などの環境を整え、本町への被災者受け入れ支援に努めてまいります。また、被災地支援につきましても、消防職員に引き続き管内町村との連携により一般行政職員を広域体制の中での派遣を考えてまいります。

●交通安全・防犯対策  
悲惨な交通事故を防ぐため

に、本町では町内各種団体及び企業と連携を図り、年間を通じた交通安全の啓発に努めてまいります。

犯罪の未然防止につきましては「町民の安全は町民自らが守る」という考えから、地域町民、関係団体等と連携し町民の防犯意識の高揚に努めてまいります。

また、交通事故や犯罪に巻き込まれた被害者等が支援を求めた場合に備えて、関係団体との連携による支援体制の一層の充実を図ってまいります。

### 【豊かな自然の恵みを実感するまちづくり】

#### ◆基盤の強化

##### ●土地利用

土地は、生活及び生産を通じた諸活動の共通の限られた資源であり、自然環境を保全しつつ公共の福祉を優先させ、人と自然、まちと自然が調和するまちづくりを進めるため、有効な土地利用に努め、まちづくりに対応する公共用地の

利用と適正な処分に努めてまいります。

##### ●道路交通網

国の道路整備にかかる予算確保が厳しい状況であります。が、町民生活及び営農に密接した道路優先の視点に立ち、国府18線本線、営32線本線の改良・舗装を継続的に実施してまいります。

また、昨今の農作業機械の大型化に伴い、歌内国府支線の一部を本年単年度で整備してまいります。

##### ●情報・通信基盤

平成22年度に整備した町内全域の光ケーブルの布設により、おしらせ君による防災・気象・行政情報の提供をはじめ、地上デジタル放送、超高速ブロードバンドサービスの提供及び携帯電話の電波エリアの拡大が可能となり、都市と地方との情報格差の解消が図られました。

この設備を活用して、町民間のコミュニケーションを深めていただくとともに、高度情報化への研究に努めてまい

#### ◆産業の安定

ります。

本町の基幹産業である農林業の振興を軸に、農工商の連携を強化し、若者の雇用の場の拡大を目指してまいります。そのために、まずは本町における営農指導体制の強化を図ります。農業者に対する営農指導を中心に、各関係団体と行政の調整強化のための方策を講じ、本町農業のより一層の振興を図ります。

また、音威子府バイパス事業の促進強化を図り、活力ある商工業や観光の振興になお一層取り組んでまいります。

##### ●畜産振興

最近の生乳生産の動向につきましては、生産者団体が平成20年度及び平成21年度には増産型計画生産を実施してきま

したが、平成22年度は乳製品在庫量を前年以上に増加させないために、生乳需要の計画的な創出に取り組むことを前提に計画生産目標数量を、対前年度比98・8%に設定しました。結果、平成22年度の生

乳生産量は前年同期比マイナス2・8%、北海道ではマイナス0・9%となりました。

また、昨年は集中豪雨災害により、飼料作物にかつてない程の甚大な被害をもたらしました。その結果、草地への土砂流入、冠水による収量の激減、品質の低下等により粗生産額が大きく減少しました。この対策として、「農業被害対策支援事業」を実施し、草地更新の資材費を支援してまいります。

また、畜産担い手総合整備事業(再編整備型事業)、ライムケーキ投入による「草地土壌改良促進事業」を継続し、排水整備を促進するための「小規模排水整備支援事業」、良質粗飼料の確保と飼料自給率の向上を図る酪農業を推進し、畜産経営の安定化に取り組んでまいります。

##### ●畑作・野菜振興

国内の農業は、昨年新たに「食料・農業・農村基本計画」を策定し「戸別所得補償制度」を導入するなど大きな転換期を迎えております。こうした

中、昨年の集中豪雨などにより、本町の畑作・野菜経営はかつてない程の甚大な被害をもたらしました。

このため、本年度は新たに「農業再生産支援対策事業」を創設し、次年度にむけた畑作物再生産の促進と経営の安定を図るため、支援金の助成を行ってまいります。

また、不景気による農産物の売行き不振等の影響を受け農業所得の伸び悩みや、遊休地の増加等、依然として厳しい状況になっております。

厳しい状況にあっても地域の安定的な農業生産が可能となるよう、土づくり対策として「中川町元気な土づくり推進事業」の継続、本町の主力作物であるかぼちゃが安心して出荷できるよう「中川町かぼちゃ残留農薬へブタクル自査検査支援事業」を継続してまいります。

また、エゾシカ等有害鳥獣駆除対策の強化を図り、農作物被害防止対策の推進に取り組んでまいります。

### ●農業担い手対策

農家戸数は、この10年間で約半減し、依然として減少傾向は進行しています。地域農業の振興を図るためには、担い手確保対策が重要な課題となっております。

新規就農者誘致事業につきましては、中川町新規就農者誘致促進対策協議会を核として、引き続き新規就農者の受け入れ体制の強化を図るとともに、JAとの連携により新規就農者のフォローアップ体制の強化に努めてまいります。

既存の農業後継者対策につきましては、北海道就農計画認定制度を活用し、財団法人北海道農業開発公社（担い手支援部）北海道農業担い手育成センター、中川町農業委員会等と連携を図り、各種支援事業、研修事業への取り組みを進めるとともに、「中川町農村体験実習受入事業」を継続実施し、農業後継者の花嫁対策も併せて重要な担い手対策として支援してまいります。

### ●林業振興

本町は、国有林3万455

0ヘクタール、町有林と私有林からなる一般民有林1万6422ヘクタールを有する森林の町であります。森林の有する多面的機能の持続的発揮、林業・木材産業の再生による地域振興、森林整備と木材利用による温室効果ガスの削減を目指してまいります。

当町における森林の大部分を占める国有林につきましては、分取造林契約や森林整備協定の締結を視野に入れた、町主体の国有林野の有効活用を検討してまいります。

2000ヘクタールを有する町有林につきましては、現状の詳細な調査分析を行い、適正な施業体系を構築するとともに、地域における木材の安定供給を目指してまいります。

伐期を迎えた人工林は適正に伐採売却することで、歳入を確保し継続的かつ計画的な森林整備の量的維持に努めてまいります。

また、間伐の遅れた森林を早期に施業することで、表土の流出防止を図るほか、森林価値の向上を目指してまいります。

ます。

さらに、経済的、環境的価値の高い町有林形成のための施業を年次的に行い、その過程において安定的な雇用の確保に努めてまいります。

民有林振興につきましては、ポスト21世紀北の森づくり推進事業、人工造林推進事業、森林整備地域活動支援交付金事業等、既存の補助事業を活用するとともに、路網整備を進め、林業技術の普及啓発に努めてまいります。

また、近代林業システムの構築に不可欠な人材育成を促進するため、緑の雇用関係事業等に対する支援を行ってまいります。

更なる林業振興を実現するため、地方独立行政法人北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場道北支場との連携を強化することにより、中川町の優位性を最大限に発揮し、行政・民間活力が一体となった山づくり森づくりを行ってまいります。

### ●商工業の振興

本町を取り巻く経済情勢は、

依然として景気後退や、人口の減少により、地域内の個人・法人所得に大きな影響を及ぼしております。国内景気が冷え込み、消費は節約型に転じるなど、消費の動向は依然として厳しい状況にあり、町内での購買力の流出傾向が続いており、商業における好転の兆しが見えない状況にあります。商工業の振興を図るため、商工会が発行予定の「設立50周年記念プレミアム商品券」への助成を実施してまいります。

国は、農林漁業の6次産業化を進めており、本町においても、地域の創意と主体性が十分に発揮されるような農商工連携の推進が重要でありますので、農業者と商工業者との連携を進めていく体制づくりの支援に取り組んでまいります。

「企業振興促進事業」につきましては、本町の産業振興と雇用機会の拡大を目的に進めてまいります。

中小企業の運転・設備資金の融資制度につきましては、引き続き支援してまいります。



応するため、役場機構の一部見直しを本年度中に行い、住民の目線に立った行政機能の強化を図ってまいります。

最後に「定住自立圏構想」についてありますが、現在複眼型中心市を宣言した名寄市・士別市と構想の3つの視点「生活機能の強化」、「ネットワークの強化」、「マネジメント能力の強化」のそれぞれの政策分野において、具体的な連携の取り組みについて協議を進めており、早期の協定締結に向けて努力して参ります。

以上、平成23年度町政執行方針といたします。

町議会議員各位並びに町民の皆様には重ねてご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 平成23年度 教育行政執行方針

中川町教育委員会教育長 山内 茂



平成23年中川町議会第2回定例会にあたり、中川町教育委員会教育行政執行方針を申し上げます。

近年、地方においても少子・高齢化や人口減少、IT情報化社会の中で、インターネットや携帯電話の飛躍的な普及により、人と人との対話やつながり、地縁が希薄化し、地域力や教育力が低下し、子どもたちを取り巻く環境にも大きな影響を及ぼしているとの指摘もあります。

このようなときにこそ、困難に立ち向かい解決する力、友達に対する思いやりの心や自立心、自制心の育成、すなわち、新しい時代を切り拓き、礎を築いていく気概を持った人材の育成が、私たちに課せられた課題であると思えます。また、さまざまな教育課題を解決していくためには、地域の皆が子どもたちを見守り、育てていくことが必要であり

教科時間数を確保した教育課程の実践を進めていかなければなりません。

各学校の学習指導計画は、学力テストなどを分析し展開しているところであります。

教師は教育の専門家として、わかる授業の実践に努め、保護者には、家庭における学習時間の大切さをご理解いただき、学力の向上にむけた方策を推進してまいります。

「豊かな心」の育成については、ふるさと学習などを通して、地域の文化や自然とふれあい、多くの地域の良さを体験する中で、倫理観や人間尊重の精神、何事にもあきらめず頑張る心など、より豊かな心の育成に努めてまいります。

「健やかでたくましい心身」の育成については、子どもたちの体力向上に向け、校内における体力向上プランを作成し、具体的な実践に取り組んでまいります。

また、子どもたちが健やかに成長していくためには、適切な運動、調和の取れた食事、十分な休養・睡眠が大切であ

りますが、近年、成長期の子どもにとって不可欠な「よく体を動かし、よく食べ、よく眠る」という基本的な生活習慣が大きく乱れているとの、全国的な傾向としての報告があります。

核家族化と夫婦共働きの時代に入り、家族の縮小による家庭力が低下し、家庭における食事や睡眠の乱れが子どもの問題として、現れてきていると言われております。

特に、食の乱れが深刻であり、食が日々の買い物や食事の対象にすぎず、手作りが減っていること、子どもが朝食を食べない、又は、孤食になつている、好きな時間におやつを食べる、夜食を食べるといった状況が進んでいます。

子どもの健康は、朝食から始まると言われておりますので、教育委員会としても、本町の子どもの状況把握に努め、子どもにとっての食育と教育の結びつきを検討してまいります。

と考えるております。

## 2. 地域とともに歩む学校づくり

全国の教育現場では、日常的に様々な問題行動が発生している状況であり、その対処に教職員が忙殺されることが多く、その要因のほとんどが家庭教育に起因し、教職員の本務外であるものが多いとの報告がなされています。

子どもを教育する方向を、学校・家庭・地域社会が確認し、支え合う意識を育むことが求められています。

地域の子どもは地域全体で育てるという思いを達成するため、地域力を生かした学校支援や、学校と地域の協働体制の在り方について検討してまいります。

## 3. 個に応じた生き方指導

学校では、各々の発達段階に応じた生き方指導を教育課程に位置づけ、心の教育・道徳、特別活動・総合学習を通して、具体的に指導しているところであります。

### 1. 「確かな学力」「豊かな心」「健やかでたくましい心身」の育成

学校教育について申し上げます。

特に、中川ふるさと学習プロジェクトの実践において、学校教育・社会教育の連携を強化し、地域の教育力の向上に努めてまいります。

「確かな学力」の育成については、新学習指導要領によるゆとり教育の推進から確かな学力の確立への移行に伴い、小・中学校それぞれにおける

子ども一人ひとりを大切に育てるためには、家庭の理解やPTA活動など地域の支援が欠かせません。

今後においても、ご理解とご協力をいただきながら進めてまいります。

また、特別支援教育につきましては、きめ細やかな個々の指導を重視し、各学校の特別支援委員会による一人ひとりに最適な指導・助言を行い、自立を促す指導の実践を目指してまいります。

#### 4. 高等学校教育に対する支援

平成23年度からの北海道中川商業高等学校の募集停止に伴い、町としては、高校教育の機会の均等と地域社会に有為な人材の育成を図る観点から、北海道の支援策の充実と継続を要望し、また、町独自の支援策を講じてまいる考えであります。

中川商業高等学校の在校生である2年生・3年生には、中川商業高等学校教育振興対策協議会と連携し、教育環境

の低下を招かぬよう、支援を継続してまいります。

次に、社会教育について申し上げます。

社会教育の推進につきましては、中川町第5次総合計画および第8期中川町社会教育中期計画に基づき、次の社会教育の3領域につきまして、

- (1) みんなで学び、うるおいのある暮らしと地域を築く
- (2) みんなで創り、豊かな個性と生きがいを見つける
- (3) みんなで楽しみ、健やかな心とからだを育む

わくわくスポーツ活動の展開を進め、第8期中期計画の重点目標「心の豊かさとうるおいを実感し、楽しみと活力にあふれる地域づくりをめざす」に、繋げてまいりたいと考えております。

#### 1. 青少年の健全育成・家庭教育の推進

近年、全国的に家庭や地域の教育力の低下が叫ばれ、未

来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校、家庭及び地域がそれぞれの役割と責任を自覚し、地域全体で教育に取り組むことが求められています。

青少年の生活の場であり最も身近である家庭は社会の原点であり、教育の出発点として重要な役割を担っております。

学校、家庭及び地域社会が一体となり、子どもを守り育てる機運を醸成し、家庭や地域の教育力の向上を図ってまいります。

#### 2. 成人・高齢者教育の推進

地域の成人・高齢者は、自らが団体・サークル活動や講座などの学習機会を通し自己啓発を図っておりますが、一層の学ぶ場や機会の充実を図り、自主的・主体的な活動となるような支援が求められています。

団体・サークル活動や中川ふるさと学習プロジェクト参加による住民の学習成果が、

地域に還元され、地域が生き生きすることを期待し、関係団体と連携・協働に努めてまいります。

また、高齢者も地域の先輩として地域活動に参画し、経験と知恵が伝承されるよう、多くの高齢者が社会参加しやすい体制づくりに努めてまいります。

#### 3. 文化活動の推進

文化活動の充実、町の活性化や心豊かな社会をつくるためには、重要な課題であります。

IT情報化社会の到来は、いつでも、どこでも、誰でもが学ぶことのできる社会環境となっており、あらゆる世代の人が、この恩恵を受けられる状況ではありません。

特に、文化・芸術活動は、豊かな人間性を育み、生活に潤いをもたらすものであり、個性あふれる活動を、住民自らが企画立案し、実践する機会を高めていかなければなりません。

地域文化に触れ自ら行動し、学んだことを地域に還元する活動に発展させていくことが、地域文化の発展に繋がるものと考えております。

住民に身近な機会として、児童小劇場、斎藤茂吉記念短歌フェスティバル、町民文化祭、教育講演会などを開催し、また、各種団体・サークルへの支援を行い、芸術・文化活動の振興に努めてまいります。

#### 4. 社会体育の推進

明るく活力に満ちたスポーツ・レクリエーション活動は、健康で文化的な生活を営む上で重要な役割を果たし、コミュニケーションを育むなど、地域社会の形成に優れた機能を発揮し、豊かな人間関係を築く有効な手段となります。

体を動かす機会の少ない住民にも、いつでも、どこでも、誰でもがスポーツを楽しむことができるよう、関係団体と連携しながら、気軽に楽しむことのできる多様な機会と場づくりに努めてまいります。

本年2月設立の総合型地域スポーツクラブ「ながわわスポーツくらぶ」では、子どもたちの体力向上と望ましい生活習慣を身につけるためのキッズプログラム活動や、幼児から高齢者まで地域住民の多くが参加する各種スポーツ教室・イベントの開催、指導者養成講習会などの事業の取り組みをしております。

総合型地域スポーツクラブは、体と心の育みと、人との交流、世代間交流などのコミュニティづくりにも効果が期待されますので、関係諸団体と連携を深めながら、これらの活動を支援してまいります。

## 5. エコミュージアムセンター

エコミュージアムセンターは、ながわわ地域まるごと博物館の理念のもと、地域資源、地域財産の再発見・再認識活動の展開を図ってまいります。

センターの運営につきましては、地域住民はもとより各

関係機関、特に、北大中川研究所林（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター森林圏ステーション中川研究所）、道立林業試験場道北支場（北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場道北支場）のご支援とご協力をいただき、調査・普及事業を町内外に発信し、これらをベースとした中川ふるさと学習に取り組み、子どもから大人まで、地域の誇りに気づき、次世代に継承する活動に取り組んでおります。

このように地域住民とともに蓄積してきた中川の地域財産に関するデータやノウハウを、どのように保全・活用し、次世代に継承していくかの仕組みづくりと環境整備が、今後の大きな課題であると考えております。

地域の歩みの歴史・民俗と、地域の自然資源の調査資料の展示と、住民の学習の場として、充実を図ってまいります。

以上、平成23年度教育行政執行方針といたします。

町議会議員各位、町民の皆様、より一層のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。

# 永年の功績に対して中川町からお祝い



平成23年春の叙勲

野呂信城氏

選挙管理委員会委員としての永年の功績を讃え、旭日单光章（選挙管理事務功労）を受章されたことに対して、中川町から記念品などを贈呈しました。

## こくほご存じですか？

住民税非課税世帯の方は  
入院時の食事代が減額されます！

入院したときの食事代の自己負担額は1食あたり260円ですが、世帯主及び国保加入者全員が住民税非課税の場合、申請により自己負担額が下表のようになります。

減額の適用を受けるには、「限度額適用・標準負担額減額認定証」が必要となりますので、担当窓口に申請してください。

急な入院などによって申請手続きができなかった場合には、負担した額との差額をお返しいすることもできますので、その旨お申し出ください。

申請に必要なもの  
・ 保険証  
・ 印鑑

【問い合わせ先】

住民課幸福推進室

☎ 7・2813

入院時 食事負担額 (1食あたり)	一般（下記以外の方）		260円
	住民税非課税の方 (70歳以上では 低所得Ⅱ ※1の方)	90日までの入院	210円
		90日を超える入院 (過去12か月の入院日数)	160円
	70歳以上で低所得Ⅰ ※2の方		100円

※1 低所得Ⅰ……世帯主及び国保加入者全員が住民税非課税の方

※2 低所得Ⅱ……世帯主及び国保加入者全員が住民税非課税かつ所得が一定基準に満たない方

平成23年7月から、  
年金事務所などへ提出する  
「住所変更」や「死亡届」は  
原則不要になりました

原則不要になりました

住民基本台帳ネットワークから住所変更などの情報を取得できるようになったため、これまで本人に提出いただいていた「現況届」を原則不要としていることに加えて「住所変更届」「死亡届」も原則不要となりました。ただし

① 日本年金機構において住民票コードが収録されている方に限ります。

※住民票コードの収録状況は平成23年6月送付の年金振込通知書に記載されています。

※日本年金機構からのお知らせなどを送付するときの宛先を住民票とは異なる宛先へ希望されている方は引き続き年金事務所などへの届出が必要です。

② 年金事務所などへの「死亡届」が不要となるのは、死亡の事実があつてから、戸籍法上の届出期限である7日以内に役場へ届け出をした場合のみとなります。

ただし、亡くなった方の未払い年金を受け取ることができるご遺族の方はこれまでどおり年金事務所などへの届け出が必要です。

【問い合わせ先】

旭川年金事務所

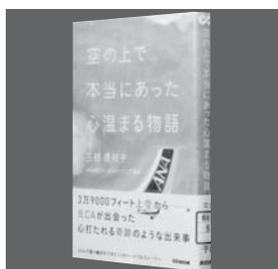
☎ 0166・27・1611



「ユーラシアの双子」

大崎善生 著

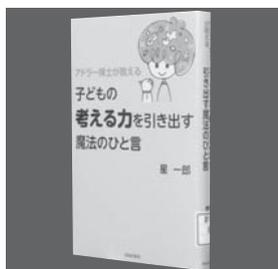
自殺した娘、病床の元妻。決して戻らぬ過去を噛みしめ、ユーラシア大陸横断の旅に出る50歳の石井。途中、自殺を決意し旅をするエリカの存在を知り、彼女の自殺をひき止めようと決意する。



「空の上で本当にあった心温まる物語」

三枝理枝子 著

3万9000フィートの上空で、元CAが出会った心打たれる奇跡のような出来事。乗客との触れ合い、仲間たちとの交流など、ANAで語り継がれてきた33のハートフルストーリーを収録。



「子どもの考える力を引き出す魔法のひと言」

星 一郎 著

「こうしなさい!」を「どうしたらいい?」と言いかえるだけで、子どもは変わります。人とのかかわり方を重視した「アドラー心理学」に基づいて、子どもの考える力を引き出す効果的なコミュニケーション・スキルを紹介する。



「うんこばい菌 元気のもと!」

斉藤ふみ子 著

「うんこ、おしっこ、ゲロ、汗、鼻水といった人間の体の汚いもの」がなぜ出るのか、なんのために出てくるのかを、迫力のイラストと楽しい文章で紹介しています。

# まちの文芸

〔短歌〕

猫は猫の言葉で自己を主張する「たまには私の意見も聞いて」

花好きの友は新芽のおきな草を大切に抱き急ぎて帰る

山間の離農のあとにひっそりとか細き水仙、チューリップ咲く

安かれと祈る心にいんいんと鳴りつづけてよ海の沈鐘

ひとすじの紫煙くゆらし目を閉じて時の窪みに身を横たえる

ためらはず記憶のかけらが去ってゆくお願ひだからまう少しゐて

不信心に暮す日々にも神という響きに依りて願うことあり

揚げひばり朝に仰ぐ少年は宇宙飛行士の夢を離さず

どんど焼を終へておみくじに願ふのはこの一年の家内安全

願いても適わぬ事など乗り越えろ明日を変えられる今に生きおれば

やちぶきの黄色日に日におがりたち山裾うめて流れをはじく

〔俳句〕

新緑の香心地よし山路ゆく

葉ざくらとなりて静まる城下町

学舎に紫の風リラ香る

五十嵐仁美

鎌田 陽子

河野 廣

小林 淑子

佐竹 敏章

古市 和子

山内 智子

山内ミツエ

山田 昇

横山やすこ

吉田 ケイ

河野 廣

浦島 キミ

古市 和子

日頃のできごとや風景・季節に感じたこと  
と思ったことを短歌で一首または、俳句で  
一句詠んでみませんか。

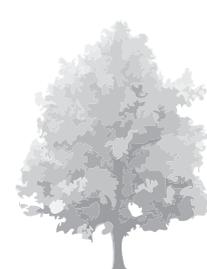
短歌や俳句に興味をお持ちの方がいらっ  
しゃいましたら、お気軽にご参加ください。

短歌同好会 俳句紫苑会

連絡先(どちらも)古市和子さん

☎7-2850

●月刊会報「まほろば」をご希望の方は、  
年会費500円の購読会員制をご利用  
ください。  
お申し込みは、事務局(古市和子さん  
☎7-2850)へお願いします。



# 保健だより

## 【今月のテーマ】 妊娠を考える女性の健康

女性のからだは本来持っている赤ちゃんを産むための機能は、思春期（8歳～18歳）からその準備を開始し、20～30歳代に成熟を迎え、妊娠・出産・育児に適した体の機能が整います。しかし、近年の若い女性の

の「やせ志向（※1）」は、月経不順や貧血などの日常生活の不調に影響するだけでなく、妊娠・出産時における早産や低出生体重児（※2）の出生率を高める傾向にあります。

平成21年の国民健康栄養調査結果の概要によれば、20代ではやせの女性は23%

※1「やせ」とは、BMI（体格指数）18・5未満をいいます。計算式は、左ページの食育通信を参照してください。

※2「低出生体重児」とは、2500グラム未満で生まれる子どもを指します（現在の平均出生体重は約3000グラム）。身体の機能の未熟さを持つ場合も多くあります。

肥満は8%であり、やせが著しく多い特徴があります。20年前に比べると、若い女性のやせは30～50%以上も増加しています。また、低出生体重児の出生率は平成19年で10%と20年前の約2倍に増加しています。

### 思春期の問題

思春期のダイエットは、子宮の成長を妨げ、妊娠しても胎児を大きく育てる余裕を持ってなくなります。

また、体脂肪が足りないと、月経をおこす女性ホルモンの分泌にも影響し、月経不順を招き、不妊の原因にもなります。

まずは、自分の体格を知ることが大切です。BMI 18・5未満の方は、やせすぎの傾向にありますので、食事や生活の偏りを見直す必要があります。

### 妊婦の「やせ」はなぜ問題？

妊婦は、ふくよかな体型

が特徴的ですが、ボディイメージの変化や産後の体型に不安を抱き、体重を増やしたくないと思うことがあっても知れません。

しかし、妊娠前からやせていたり、妊娠中の体重増加が少ないと、発育に十分な栄養が胎児へ届かず、低出生体重児が生まれる可能性が高まります。

このような赤ちゃんは、下の囲みにもあるように、将来、冠動脈疾患、高血圧、糖尿病、脳卒中、脂質異常症などの生活習慣病をおこしやすいことが、調査で明らかになっています。

胎児期の低栄養は、生活習慣病という30年、40年に及ぶ長期的な影響を及ぼすことになるのです。

以前は、胎児の発育や母体の命にかかわる妊娠高血圧症候群を予防するため、「過剰に太らないこと」が

言われていましたが、現在は、胎児期からの生活習慣

病予防を踏まえ、妊娠前の体格にあわせて、必要な体重増加を勧めるようになってきます。

中川町の過去5年間の低出生体重児の出生率は約12%で、その中で妊娠前の体格がやせであった方の割合は約60%でした。

中川町では、妊婦のやせや、低出生体重児の予防のため、妊婦相談や妊婦教室（不定期開催）において、適切な体重増加や、食生活の改善についての相談を行っています。

### 【健康相談日】

日時 毎週火曜日

午後1時～4時

場所 保健センター相談室

※事前に来所時間をお知らせください。

現代社会は「やせている」ことが美しく言われる風潮がありますが、その状態が妊娠や出産・子どもの将来の健康にまで影響を与える可能性があることを知っておくことが大切です。

## ● 成人病胎児期発症説 ●

臓器が作られる時期に低栄養状態におかれると、赤ちゃんは本来の成長能力を抑制し、低栄養の環境で生きていけるようエネルギー節約型の小さな身体がつくられます。

しかし、出生後の普通の栄養環境は、少ない栄養で成長するしくみを持った赤ちゃんにとっては栄養過多になり、余った栄養は脂肪組織として蓄えられるようになります。それが長年にわたると、生活習慣病を引き起こしやすくなります。胎児期の栄養環境が将来の生活習慣病の要因をつくると考えられています。

☆現在は、胎児期に低栄養状態にさらされた場合、出生体重の大小にかかわらず、上記と同じように生活習慣病をおこしやすくなるという考え方もでてきています。

## やせすぎ・太りすぎがいけないのはなぜ？

ダイエットのしすぎはよくないのね



### 妊娠前の体格の影響

#### やせすぎていると

- ・胎児の発達が遅れる
- ・切迫流産
- ・貧血 など

#### 太りすぎていると

- ・妊娠高血圧症候群
- ・妊娠糖尿病
- ・巨大児 など

### 妊娠前の体格に関わらず

#### 妊娠中の体重増加が著しく少ないと

- ・貧血
- ・早産
- ・低出生体重児
- ・子どもの将来の生活習慣病 など

#### 妊娠中の体重増加が著しく多いと

- ・妊娠高血圧症候群
- ・妊娠糖尿病
- ・分娩時の多量出血
- ・巨大児分娩
- ・帝王切開分娩 など

お母さんと赤ちゃんの健やかな未来のために  
妊娠すると体重管理が必要になってきますが、お母さんと赤ちゃんにとって望ましい体重増加量は妊娠前の体格によって異なります。  
健やかなマタニティライフや元気な赤ちゃんを産むためには、妊娠前からの体づくりが大切です。

## BMI (体格指数) を計算してみましょう

$$\text{BMI} = \text{妊娠前の体重 ( ) kg} \div \text{身長 ( ) m} \div \text{身長 ( ) m}$$

BMIによって妊娠中の推奨体重増加量が決まります

BMI	区分	推奨体重増加量
18.5未満	やせ	9~12kg
18.5~24.9	ふつう	7~12kg
25.0以上	肥満	主治医と相談しましょう

## 葉酸を多く含む食品



葉酸は、体に貯めることができないので、毎日摂ることが大切です。バランスの良い食事に加えてサプリメントも上手に取り入れて、十分に摂ることを心がけましょう（サプリメントは、特に妊娠する1~2ヶ月前から摂ると効果的だといわれています）。

葉酸は、妊娠前から摂りたいビタミン「葉酸」  
葉酸は、妊娠前から適量を摂ることで「先天性神経管閉鎖障害」の赤ちゃんが生まれるリスクを減らす、妊娠全期間での胎児発達に不可欠な重要なビタミンです。  
また、妊娠中の血管障害を予防し、さらに将来の動脈硬化、血管障害の予防、心臓欠陥の健康維持にも効果的です。

# 駐在所から



## お盆期の交通事故防止

8月は、お盆の帰省や行楽などでスピードを出しすぎたり、疲労が原因の重大事故が多発する恐れがあります。

○無理のない計画を！  
お盆時期は渋滞の発生も予想されます。

○スピードを抑えた安全運転を！  
スピードの出しすぎや無理な追い越しは重大事故の原因です。

○疲れを感じたら休憩をとって気分転換を！  
少なくとも2時間に一度は休憩しましょう。

○しっかりと前を見て運転に集中を！  
カーナビや目的地の確認は、停止して行いましょう。

○すべての座席でシートベルトの着用を！  
まずシートベルト、チャイルドシート。「後ろの席は安全」は大きな間違いです。

## 防災意識の高揚

### 〔災害に備えて安心 わが家の防災〕

災害は、いつ、どこで、どのように起こるかわかりません。突然やってくる災害から身を守るため、普段から災害に対する備えをしっかりとすることが大切です。

災害が発生し、役場などから避難の指示などがあつたときは、まず落ち着いて行動し、役場職員や警察官の指示に従って避難しましょう。

### 【問い合わせ先】

美深警察署 ☎ 2-11110  
中川駐在所 ☎ 7-2019  
佐久駐在所 ☎ 8-5071  
警察相談電話 ☎ #9110

# まちのご長寿さん

喜寿おめでとうございます



堺 實さん(77歳)



横山芳男さん(77歳)

米寿おめでとうございます



辻 キヨさん(88歳)

# 中川消防支署から

## 第41回名寄分会消防総合訓練大会が開催されました



6月26日に第41回名寄分会消防総合訓練大会が中川町イベント広場において開催され、快晴の中、会場にはたくさんの方々にお越しいただき誠にありがとうございました。日頃の訓練の成果を発揮すべく小隊訓練、小型ポンプ実戦訓練など、機敏で節度ある動作を通して、消防活動に真剣な消防団員の姿をお見せすることができたのではないかと思います。

また、株式会社中川阿部建設様より会場設営に際して多大なるご支援をいただき、関係者一同、心より感謝申し上げます。

## 中川消防団旗が新しくなりました



昭和22年、消防団設置条例が制定され、そのころから消防団の象徴として永年使用してきた団旗の劣化が激しく修理不能となったことから、中川町消防後援会が中心となり新団旗を作成し、過日、中川町役場において関係者参列のもと、中川町消防後援会今野会長から中川消防団吉川団長に贈呈されました。永年の風雪に耐え、今日まで団の象徴として活動いただいた団旗が、町民各位のご理解のもと新調できたことに対し、心からお礼申し上げます。

これからも町民の安心・安全のため団員一致協力し、任務を全うするとともに後世に引き継ぎますと吉川団長から謝辞が述べられました。

中川消防支署へのご相談、お問い合わせは☎7-2119番まで



**火災・救急  
出動件数**  
火災出動 0件  
救急出動 25件  
平成23年6月30日現在

### 『小型ポンプ実戦訓練競技結果』

中川消防団



優勝 風連消防団  
準優勝 下川消防団

## 議会・各種委員会の開催状況

- 6月22日 ● 議会全員協議会
- 6月22～23日 ● 第2回定例町議会
- 6月28日 ● 選挙管理委員会
- 6月29日 ● 農業委員会

- 7月4日 ● 選挙管理委員会
- 7月5日 ● 選挙管理委員会
- 7月8日 ● 選挙管理委員会
- 7月11日 ● 選挙管理委員会
- 7月13日 ● 食育推進連携会議

ありがとうございます  
じゃらます

- 社会福祉協議会、一心苑に寄付
- 父(新一様) 死去に際して 寺尾 拳一様
- 夫(虎義様) 死去に際して 西原ヨリ子様
- 妻(惇子様) 死去に際して 金見 松藏様
- 夫(松藏様) 死去に際して 遠藤 愛子様

社会福祉協議会、一心苑に寄贈  
季節のものを含めて次の方々より「志」

中 昭幸様  
匿名(4名)様

謹んでお悔やみ  
申し上げます

- 佐久 西原 虎義様 (82歳)
- 中川 遠藤 松藏様 (91歳)
- 中川 野村 シエ様 (96歳)
- 中川 竹田 寅一様 (85歳)

# 6月の入札・契約結果

工事・業務名	入札参加業者 (※落札業者)	入札結果		予定価格(円)	契約金額(円)	落札率	工事などの概要	期 間	備 考
		第1回入札金額(円)	第2回入札金額(円)						
平成23年度 中川町橋梁長寿命化 修繕計画策定委託業務	※株式会社三洋コンサルタント	5,040,000		5,586,000	5,292,000	94.7%	15m以下43橋 15m以上34橋 全体77橋	着手 平成23年 6月10日	入 札
	パブリックコンサルタント㈱	5,070,000						完了 平成23年11月30日	
	和光技研㈱	5,100,000							
	㈱アサヒ建設コンサルタント	5,100,000							
平成23年度 中川簡易水道施設整備 調査設計業務	※グローバル設計㈱	16,400,000		17,797,500	17,220,000	96.8%	前処理施設実施設計 一式 前処理施設地質調査 一式 前処理施設測量調査 一式	着手 平成23年 6月13日	入 札
	パブリックコンサルタント㈱	17,000,000						完了 平成23年 8月10日	
	㈱ドーコン	17,000,000							
平成23年度 北1丁目1号線舗装工事	※㈱中川阿部建設	3,620,000		3,927,000	3,801,000	96.8%	密粒度アスコン3cm 659㎡ アスファルト安定処理5cm 608㎡	着手 平成23年 6月10日	入 札
	平和舗道㈱	3,700,000						竣工 平成23年 7月29日	
	秋津道路㈱道北営業所	3,740,000							
平成23年度 国府18線本線舗装工事	※㈱中川阿部建設	12,920,000		13,986,000	13,566,000	97.0%	粗粒度アスコン4cm 2,098㎡ 密粒度アスコン3cm 2,611㎡ 細粒度アスコン3cm 70㎡	着手 平成23年 6月10日	入 札
	秋津道路㈱道北営業所	13,100,000						竣工 平成23年 8月19日	
	平和舗道㈱	13,250,000							
森林環境保全整備事業 平成23年度 町有林下刈工事	※上川北部森林組合	5,930,000		9,222,150	6,226,500	67.5%	町有林92.66haの下刈	着手 平成23年 6月10日	入 札
	天塩川工業㈱	6,250,000						竣工 平成23年 8月 8日	
	遠藤工業㈱	7,300,000							
平成23年度 1区真空樹設置工事	※㈱中川水道	2,300,000		2,468,550	2,415,000	97.8%	下水道真空樹1箇所新設	着手 平成23年 6月10日	入 札
	㈱佐藤工建	2,360,000						竣工 平成23年 7月29日	
平成23年度 町営牧場中川団地 肥料散布委託業務	※㈱加藤造園	1,080,000		1,228,500	1,134,000	92.3%	町営牧場中川団地(1・2・4群)肥料散布業務 1群 80.2ha 2群 56.8ha 4群 87.3ha 計 224.3ha	着手 平成23年 6月10日	随意契約
								完了 平成23年 7月11日	
平成23年度 インターネット用パソコン 購入事業	※㈱佐藤電器商会	2,772,000	2,660,000	2,907,450	2,793,000	96.1%	デスクトップ パソコン14台	納入期限 平成23年 6月23日	入 札
	村上電器	2,940,000	辞退						
平成22年度 特養一心苑 電動ベッド購入事業	※㈱エムジェーサポート	17,900,000		19,408,200	18,795,000	96.8%	電動ベッド15台 手動ベッド37台 マットレス52台 ベッドサイドレール52組 介助用パー16組 ベッド専用テーブル40ヶ 運搬設置一式 ベッド廃棄処分一式	納入期限 平成23年11月30日	入 札
	㈱ムトウ 名士支店	18,560,000							
	㈱竹山 道北支店	24,000,000							
平成23年度 小型ロータリー除雪車 更新事業	※ナラサキ産業㈱ 旭川支店	25,001,420		27,593,450	25,001,420	90.6%	1.5m/900t級 1台 草刈装置一式	納入期限 平成23年11月30日	入 札
	㈱日本除雪機製作所	25,179,920							

工事・業務名	入札参加業者 (※落札業者)	入札結果		予定価格(円)	契約金額(円)	落札率	工事などの概要	期 間	備 考
		第1回入札金額(円)	第2回入札金額(円)						
平成23年度 国府18線本線 道路改良工事1工区	※大永建設株	39,000,000		42,021,000	40,950,000	97.5%	工事延長L=235m 車道幅員5.5m	着手 平成23年 6月30日	入 札
	株中川阿部建設	39,200,000						竣工 平成23年10月28日	
	株常盤天塩川建設	39,300,000							
	株佐藤工建	39,350,000							
平成23年度 共和小中学校 屋体解体工事	※株常盤天塩川建設	6,000,000		6,457,500	6,300,000	97.6%	屋体及び渡り廊下解体一式	着手 平成23年 7月 1日	入 札
	株中川阿部建設	6,100,000						竣工 平成23年 8月31日	
	大永建設株	6,150,000							
	株佐藤工建	6,230,000							
平成23年度 国府18線本線 水道管移設補償工事	※株中川水道	5,370,000		5,754,000	5,638,500	98.0%	水道管移設L=515.5m	着手 平成23年 6月30日	入 札
	株佐藤工建	5,450,000						竣工 平成23年 8月19日	
	大永建設株	5,500,000							
平成23年度 菅32線本線舗装工事	※株中川阿部建設	12,240,000		13,251,000	12,852,000	97.0%	粗粒度アスコン4cm 2,007㎡ 密粒度アスコン3cm 2,419㎡ 細粒度アスコン3cm 108㎡	着手 平成23年 6月30日	入 札
	秋津道路株道北営業所	12,370,000						竣工 平成23年 9月 9日	
	平和舗道株	12,400,000							
平成23年度 町道舗装維持補修工事	※株中川阿部建設	2,420,000		2,688,000	2,541,000	94.5%	穴埋め120㎡ パッチング190㎡ オーバーレイ500㎡	着手 平成23年 6月30日	入 札
	平和舗道株	2,530,000						竣工 平成23年 9月30日	
	秋津道路株道北営業所	2,560,000							
平成23年度 中川簡易水道機械設備 保守点検委託業務	※新栄クリエイト株	2,430,000		2,688,000	2,551,500	94.9%	中川簡易水道機械設備 保守点検一式	着手 平成23年 7月 4日	随意契約
								完了 平成23年 9月30日	
平成23年度 佐久簡易水道機械設備 保守点検委託業務	※新栄クリエイト株	1,368,000		1,512,000	1,436,400	95.0%	佐久簡易水道機械設備 保守点検一式	着手 平成23年 7月 4日	随意契約
								完了 平成23年 9月30日	
平成23年度 歌内国府支線測量設計 委託業務	※パブリックコンサルタント株	4,000,000		4,200,000	4,200,000	100.0%	測量・設計L=420m	着手 平成23年 6月30日	入 札
	和光技研株	4,700,000						完了 平成23年 9月 9日	
	旭川設計測量株	4,900,000							
	株三洋コンサルタント	5,000,000							
平成22年災 十間川災害復旧 埋塞土除去工事	※植村技建(有)	1,100,000		1,176,000	1,155,000	98.2%	埋塞土砂除去 V=580㎡	着手 平成23年 6月30日	入 札
	天塩川工業株	1,120,000						竣工 平成23年 7月25日	
	吉川組	1,200,000							
	(有)加藤造園	1,200,000							
平成23年度 中川町農業者 トレーニングセンター 電動カーテンレール 取替工事	※天塩川工業株	1,170,000		1,260,000	1,228,500	97.5%	電動カーテンレール 取替一式	着手 平成23年 6月30日	入 札
	(有)大須賀工務店	1,190,000						竣工 平成23年 8月26日	

工事・業務名	入札参加業者 (※落札業者)	入札結果		予定価格(円)	契約金額(円)	落札率	工事などの概要	期 間	備 考
		第1回入札金額(円)	第2回入札金額(円)						
平成23年度 北・こまどり団地 地中埋設管改修工事	※(株)三和電機	1,140,000		1,260,000	1,197,000	95.0%	弱電地中埋設管 改修一式	着手 平成23年 6 月30日	随意契約
								竣工 平成23年10月31日	
平成23年度 公営住宅団地内 照明灯取替工事	※(株)三和電機	886,000		987,000	930,300	94.3%	団地内照明灯取替一式	着手 平成23年 6 月30日	随意契約
								竣工 平成23年10月31日	
平成22年度 ディサービスセンター リフト付マイクロバス 購入事業	※旭川日産自動車株名寄店	8,065,905		8,528,664	8,065,905	94.6%	ディサービスセンター 送迎用バス 1台 (定員23名乗、内車椅子2名)	納入期限	入 札
	北海道いすゞ自動車株旭川支店	辞退						平成23年10月31日	
平成23年度 南団地公営住宅 クッキングヒーター 購入事業	※(有)佐藤電器商会	728,000		810,600	764,400	89.6%	クッキングヒーター8台更新	納入期限	入 札
	村上電器	750,000						平成23年 8 月31日	
平成23年度 中川町山村開発センター 調理室冷蔵庫購入事業	※村上電器	290,000		397,950	304,500	76.5%	山村開発センター 調理室冷蔵庫1台更新	納入期限	入 札
	(有)佐藤電器商会	296,000						平成23年 7 月29日	
平成23年度 中川町教育委員会 管理施設テレビ 購入事業	※村上電器	378,000		611,520	396,900	64.9%	山村開発センター: 事務室1台、日本間1台、 陶芸ハウス1台 トレーニングセンター: 事務室1台 佐久地区公民館: 図書室1台、日本間1台、 地上デジタル放送対応テレビ購入	納入期限	入 札
	(有)佐藤電器商会	385,000						平成23年 7 月29日	

# 自衛官などを募集します

受験種目	一般曹候補生	自衛官候補生 (男子)	自衛官候補生 (女子)	航空学生
応募資格	平成24年4月1日現在、18歳以上27歳未満（平成24年3月に高等学校を卒業予定者は除きます）	採用予定月の1日現在、18歳以上27歳未満	平成24年4月1日現在、18歳以上27歳未満	平成24年4月1日現在、18歳以上21歳未満
受付期間	8月1日～9月9日	年間を通じて受け付けています	8月1日～9月9日	8月1日～9月9日
試験日	9月17日	受付時にお知らせします	9月25日から28日のいずれか1日	9月23日

【問い合わせ先】 自衛隊旭川地方協力本部名寄出張所 ☎01654-2-3921

## 労災保険の相談をお寄せください

「労災保険相談ダイヤル」では、労災保険に関するさまざまなご相談に応じています。例えば、労災保険の制度に関する事、労災請求の手続きに関する事、労災の休業補償に関する事、労災年金に関する事などを受け付けます。

働く方も事業主の方もお気軽にお電話ください。

- ・ 労災に当たるかどうかは、労働基準監督署が調査して判断します。
- ・ 個人情報に関することは、お答えできない場合があります。
- ・ ご利用に当たっては、通話料がかかります。
- ・ 受付時間は、祝日を除く月～金の午前9時から午後5時です。

【問い合わせ先】  
労災保険相談ダイヤル  
☎0570・006031

## 知っていますか？ 建退共制度

この制度は、建設現場で働く方々のために、「中小企業退職金共済法」という法律により国がつくった退職金制度です。

事業主の方々は、現場で働く労働者の共済手帳に働いた日数に応じて掛金となる共済証紙を貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに建退共から退職金を支払うという、いわば業界全体での退職金制度です。

### ■ 加入できる事業者

建設業を営む方

### ■ 対象となる労働者

建設業の現場で働く人

### ■ 掛金

月額310円

### ■ 特徴

- ・ 国の制度なので安全、確実に申し込み手続は簡単です
- ・ 経営事項審査で加点評価の対象になります
- ・ 掛金の一部を国が助成します
- ・ 掛金は事業主負担となりますが、法人は損金、個人では必要経費として扱われ、

税法上全額非課税となります。事業主が変わっても退職金は企業間を通算して計算されます。

ホームページ「建退共」に、退職金の試算・パンフレット請求など、建退共制度の知りたい情報が記載されています。ぜひ、アクセスしてご覧ください。

### 【問い合わせ先】

勤労者退職金共済機構

北海道支部

☎011・261・6168

URL <http://kentaiko.jp>

[taisyo-kin.go.jp/](http://taisyo-kin.go.jp/)

## ★ふるさと今月のキラリ★



### 株式会社中川阿部建設の地域貢献活動に感謝状

(616) 問寒別佐久停車場線災害防除工事(護岸工)(繰越)を手がける同社の第41回名寄分会消防総合訓練大会における会場の草刈り・足場や仮設トイレなどの貸与の功績に対して、感謝状が贈られました。

発行 中川町 編集 総務課総務町政室 印刷 国 境

## 町の人口

(6月30日現在)

人 口	1,843人 (-9)
男	906人 (-5)
女	937人 (-4)
世 帯 数	907戸 (-5)

( )は前月末との差を示します。

## なかがわの情景

消防団員が日ごろの訓練の成果を披露する中川町で開催された名寄分会消防総合訓練大会では、中川消防団をはじめとする各消防団の皆さんが放水訓練や小隊訓練などで勇壮な姿を披露し、観覧に訪れた多くの町民の皆さんから喝采を浴びていました。

